

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	リビオメゾン新宿west	階数	地上14階
建設地	東京都新宿区	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	80 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年7月 竣工	評価の実施日	2025年1月22日
敷地面積	247 m ²	作成者	共同エンジニアリング株式会社
建築面積	120 m ²	確認日	2025年1月22日
延床面積	1,351 m ²	確認者	日鉄興和不動産株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.2 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境効率 L	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.2	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		
足元に植栽を点在させることで歩行者の景観に配慮し、バルコニーを建物とは切り離れたデザインにすることでボリュームの圧迫感を軽減するように配慮した建物とした		
その他 特になし		
Q1 室内環境 F★★★★をほぼ全面に採用している	Q2 サービス性能 インテリアパースを作成し、照明と一体で内装計画をしている	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー BEI=0.78	LR2 資源・マテリアル リサイクル材を使用する	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率79%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
リビオメゾン新宿west

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.5	
Q1 室内環境								2.2	
1 音環境				1.0	0.15	1.6	1.00	1.5	
1.1 室内騒音レベル		—		1.0	0.50	1.0	0.50		
1.2 遮音		—		1.0	0.50	2.2	0.50		
1 開口部遮音性能		住居部:T-2以上		1.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能		—		—	—	1.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		—		—	—	1.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		—		—	—	1.0	0.20		
1.3 吸音		—		—	—	—	—		
2 温熱環境				1.0	0.35	1.7	1.00	1.6	
2.1 室温制御		—		1.0	0.50	2.5	0.50		
1 室温		—		1.0	0.63	1.0	0.63		
2 外皮性能		レベル4を超える		1.0	0.38	5.0	0.38		
3 ゾーン別制御性		—		—	—	—	—		
2.2 湿度制御		—		1.0	0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式		—		1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境				1.5	0.25	2.6	1.00	2.4	
3.1 昼光利用		—		1.8	0.30	2.4	0.30		
1 昼光率		—		1.0	0.60	3.0	0.50		
2 方位別開口		—		—	—	1.0	0.30		
3 昼光利用設備		—		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		—		1.0	0.30	4.0	0.30		
1 昼光制御		住居部:カーテン・庇により昼光制御		1.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度		—		3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御		—		1.0	0.25	1.0	0.25		
4 空気質環境				3.2	0.25	3.3	1.00	3.3	
4.1 発生源対策		—		4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		全面的にF☆☆☆☆の建材を使用する		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気		—		2.0	0.40	2.3	0.38		
1 換気量		—		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		—		—	—	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		—		1.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理		—		—	—	—	—		
1 CO ₂ の監視		—		—	—	—	—		
2 喫煙の制御		—		—	—	—	—		
Q2 サービス性能				—	0.30	—	—	3.0	
1 機能性				2.2	0.40	3.8	1.00	3.5	
1.1 機能性・使いやすさ		—		1.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性		—		—	—	—	—		
2 高度情報通信設備対応		各住戸においてGbitクラスのブロードバンドが利用可能		—	—	5.0	1.00		
3 バリアフリー計画		—		1.0	1.00	—	—		
1.2 心理性・快適性		—		3.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観		—		—	—	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		—		—	—	—	—		
3 内装計画		—		3.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理		—		3.0	0.30	—	—		
1 維持管理に配慮した設計		—		3.0	0.50	—	—		
2 維持管理用機能の確保		—		3.0	0.50	—	—		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	—	—	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振		—		3.0	0.50	—	—		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		—		3.0	0.80	—	—		
2 免震・制震・制振性能		—		3.0	0.20	—	—		
2.2 部品・部材の耐用年数		—		3.3	0.30	—	—		
1 躯体材料の耐用年数		劣化対策等級2相当		4.0	0.20	—	—		
2 外壁仕上材の補修必要間隔		—		2.0	0.20	—	—		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		更新必要間隔20年		4.0	0.10	—	—		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		—		3.0	0.10	—	—		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管B、排水管B、消火管C		5.0	0.20	—	—		
6 主要設備機器の更新必要間隔		—		2.0	0.20	—	—		
2.4 信頼性		—		2.8	0.20	—	—		
1 空調・換気設備		—		3.0	0.20	—	—		
2 給排水・衛生設備		—		2.0	0.20	—	—		
3 電気設備		—		3.0	0.20	—	—		
4 機械・配管支持方法		—		3.0	0.20	—	—		
5 通信・情報設備		—		3.0	0.20	—	—		

3 対応性・更新性			1.8	0.30	2.6	1.00	2.4
3.1 空間のゆとり			-	-	2.2	0.50	
1	階高のゆとり	—	-	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	—	-	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		—	-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			1.8	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	—	1.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	—	1.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	—	1.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	—	1.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出		—	2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		—	3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	—	2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		レベル4を超える水準の断熱性能を満たす	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI=0.78	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1	節水	UB、洗面に節水器具を採用	3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	—	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	-	3.6
2.1	材料使用量の削減	—	2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメントを採用	5.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	断熱材、パーティクルボード(特定調達品目)	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	—	2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS下地により躯体と仕上り材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.9	0.20	-	-	3.9
3.1	有害物質を含まない材料の使用	ビニル床用接着剤、壁紙用接着剤、ガラスシーリング、防水用プラ	5.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1	消火剤	—	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率79%	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
2.1	大気汚染防止	—	1.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	—	3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	—	2.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	—	2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音	規制対象建築物以外	3.0	1.00	-	-	
2	振動	規制対象建築物以外	-	-	-	-	
3	悪臭	規制対象建築物以外	-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制	要請がない	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	—	1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制	日影規制がない	3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		2.3	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	—	2.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

リビオメゾン新宿west

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	-	○	-	-	○	-	-	-	-					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		-	○	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-					
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	5.0		-	-	3.0	-	-	-	-	-	1.0	1.0	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	9.0		-	1.0	1.0	3.0	-	-	-	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	1.0	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	4.0														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0		-	-	-	-	3.0	-	-	2.0	3.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	1.0		1.0	-	-	-	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		1.0	1.0	-	-		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1.0		1.0	-											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)			
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床	
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値 0.6	η AC 1.5	η AH	
屋光率	1.0%				
自然換気有効開口面積率	0.0%				

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	0㎡/人	病床	0㎡/床	シングル	0㎡ ツイン	0㎡
--------	------	----	------	------	--------	----

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	0.0 VA/㎡
---------	----------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	2.4 m
-----	-------

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%
------------	------	---------	------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	0 年
--------	-----

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	15 年
--------	------

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	20 年
--------	------

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

3.1.1 階高のゆとり

階高	0 m
----	-----

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	0.0%
-------	------

3.2 荷重のゆとり

床荷重	- N/m2
-----	--------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	52%	建物緑化指数	0%
--------	-----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	47%	水平投影面積率	12%	地表面对策面積率	31%	舗装面積率	0%
-----	-----	---------	-----	----------	-----	-------	----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	-	断熱等性能等級	等級4を超える	相当			
----------------------	---	---------	---------	----	--	--	--

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%
--------------	---------	-----------	------	-----------	------

通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%
-----------	------	-----------	------

3 設備システムの高効率化

BEI/BEI _m	非住宅	0.78	住宅	0.78	太陽光	0kW	太陽熱等	0kW	蓄電池	0kW
----------------------	-----	------	----	------	-----	-----	------	-----	-----	-----

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	断熱材、パーティ、エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
--------	------------------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	0.0%
------	------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3
---------------	---	--------------	---

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	675
---------------	---	--------------	-----

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	0%	隣棟間隔指標R _w	-
-------	----	----------------------	---

地表面对策面積率	49.0%	屋根面对策面積率	#DIV/0!	外壁面对策面積率	#DIV/0!
----------	-------	----------	---------	----------	---------

見付面積S _b	㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	0 m	基準高さH _b	0 m
--------------------	---	------------------------------	-----	--------------------	-----

緑地	31㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡
----	-----	----	---	--------	---	--------	---	----------	---